

ケアハウス王喜の郷入居者へのインタビュー

3月3日は桃の節句「ひな祭り」です。K・M 様と M・Y 様に思い出などをうかがいました。

中村: 小さいころのひな祭りにまつわる思い出などをお聞かせいただけますか?

M 様: 昔はなかなか家にひな人形などありませんでしたから、その代わり、ご近所でお雛様を飾ってある家に見に行っていましたよ。それが楽しみで嬉しかったですよ。私は豊田町の秘境と言われる奎路地(むくろじ)で7人兄弟の下から三番目でね。小学校に入る時下関に出てきたんですよ。

中村: そうでしたか。昔は今のようにお雛様はなかったですよ。私もひな祭りと言えば母がちらし寿司を作ってくれた事ぐらいですかね。M 様は桜餅や甘酒などがでしょうか?

M 様: 母はこまめでお寿司が上手でしたよ。甘酒も上手で今だに大好きです。私は食べる事が大好きなので、いつもおいしく頂いているし、朝、昼、夕、手を合わせているんですよ。

中村: そうですね。あたり前の事ですが、なかなか感謝の気持ちをあらわすという事は出来ませんね。きっと厨房の職員に M 様のお気持ちが伝わるとおもいます。また、ひな祭りの日には美味しいお寿司や甘酒、桜餅など皆様にお届けできると思います。とても楽しみです。M 様ありがとうございました。

中村: Y 様は何かお雛様についての思い出はございますか?

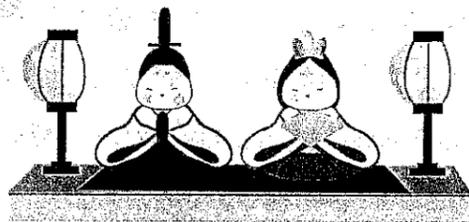
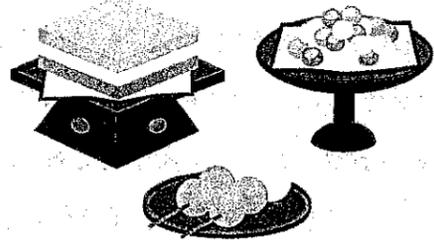
Y 様: 私は田舎に住んでいて、これといってなかったです。男ばかりで、ひな祭りとは無縁でしたね。孫娘にはひな人形を買いましたが昔も今もあまり派手にはしませんでしたよ。

中村: そうですね。私も2人姉妹ですが当時はひな人形などなくて、私が娘を出産した際に両親がひな人形を買ってくれましたから。

Y 様: 私は美祿の厚保で田舎育ちでしたが結婚するときは派手でした。馬車に飾りつけて乗って厚保駅から厚狭駅まで行きましたよ。花嫁衣裳に丸まげ結って道中は沿道に人がいっぱいでしたよ。3日間ほど料理人を雇ってお祝いをしたりととっても大変でしたね。お嬢さんが鉄道で働いていて楽団をしていたので、太鼓を叩いたり笛を吹いたり賑やかでしたよ。

中村: そうなんですね。馬車に乗っての花嫁道中は今では見る事が出来ない貴重な経験ですね。私は45年前、この王喜の地へタクシーに乗って嫁に参りました。武久の実家から花嫁衣裳を着てご近所の方々に見送られて来ました。Y 様の地域ではきっと結婚という大きなイベントを大事にされておられたのでしょうか。貴重なお話をありがとうございました。当時を懐かしく思い出されたでしょうね。

おふた方にはお話を聞かせていただき本当にありがとうございました。今年のひな祭りも楽しい一日になるとよいですね。



お願い <お菓子のやりとりについて> 入居者の皆様同士の「お菓子」や「食べ物」の頻繁かつ多量なやりとりをよく目にします。物が乏しい時代にはありがたかったものです。ところが今の時代は長持ちするようにいろんな化学的なものの中に入っています。ラベルの食品の表示をご覧ください。それが体重を増加させ、健康の障害を起し、慢性疾患の原因にもなり、また悪化させます。お互いの健康のためにも、気持ちほどの適度なやりとりを試みられませんか?

たんぽぽ通信

3月1日発行 229号

ケアハウス王喜の郷 令和8年3月号

Webページ <http://www.ryokujukai.jp>

巻頭言

ミラノ、コルティナ冬季オリンピックはいかがでしたか。夕食時の皆様のご声援が届いたのか、日本勢の活躍は素晴らしかったですね。ところで先月号に「けんちょう」の話を載せましたら、男性からの反応が多く寄せられ、驚きました。「建長寺」から名前が来たというもびっくり。父方のばあちゃん所は...など、とても郷土史的な話もありました。私どもが受け止めている事が、医学が進んでおらず農作物が天候に左右された時代に生きた先人が、必死に守ってきたものだったりします。けんちょうも、手に入る材料で栄養的に優れたもので、脈々と伝えられてきたのでしょう。私たちがいるんなものを次の世代につなげて行っているのだと思います。ただちょっと寂しいのは、物が簡単に手に入り、知恵を絞り腕を磨く稽古が少なくなり私達に物を作る力が失せてきていることです。衣、食、住、自分で考え、自分の手で作って行けるといいなあとも思います。皆様いかがですか。施設長 末谷千秋

週に一度、手作りデザートを作っています。

3月のデザート

- ① 桜もち
- ② ぜんざい
- ③ ガトーショコラ
- ④ かんきつ葛餅 どうぞお楽しみに!

E・Y 様 入居されました。

T・O 様 退去されました。

3月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
1 A・K 様 誕生日	2	3 ひな祭り 	4	5 E・Y 様 誕生日 啓蟄	6	7
8	9	10	11 T・T 様 誕生日	12	13 T・K 様 誕生日	14
15	16 T・N 様 誕生日	17	18 N・E 様 誕生日	19	20 春分の日 	21
22	23	24	25 S・T 様 誕生日	26	27 ビューティーヘルパー	28 E・K 様 誕生日
29	30	31				

*誕生日: お名前記載の方の誕生日です。

**ビューティーヘルパー: 出張の理美容です。食堂白板に「申込み書」を貼っています。ご自分でご記名ください。

ケアハウス王喜の郷

日本のオリンピックの活躍が連日報じられました。かのクーベルタン男爵の「オリンピックは参加することに意義がある」と有名な言葉があるが、そのあとに「参加する為如何に努力するかが大事だ」と云っています。代表になる為に目標をたてフィジカルメンタルトレーニング、体調、食事管理等、限界を日々超える努力を重ねています。代表に選ばれても選ばれなくても称賛に値します。1964年東京オリンピック最終日男子マラソン。国立は大歓声、一番に帰って来たのはエチオピアの英雄「裸足の王者」アベベビキラ、間を置いて円谷幸吉(自衛隊)後ろにはイギリスのヒートリが迫っている。結果は円谷3着。銅メダル、マスコミは絶賛、次期オリンピックの期待が高まり練習に励む中、突然自ら前途を断つ。お母様にお礼の手紙「ご飯美味しゅうございました。お味噌汁美味しゅうございました」と記す。 山野俊彦

王喜の郷デイサービスセンター

苦手な寒い日が続く冬もようやく終わりに近づき、大好きな春の足音が少しずつ大きくなって来ました。2月3日に、節分の行事を行いました。赤鬼と青鬼が登場すると、利用者の皆さん、「鬼は外、福は内」と大きな声を出されながら、鬼に向かって一斉に豆を投げられました。皆さんとても楽しまれていましたが、中には鬼の顔を怖がられ、泣き出され、私にしがみつかれた利用者さんもおられました。技能実習生として、デイサービスに勤務して1年と9カ月が過ぎました。言葉の壁に苦戦しながらも、利用者さんや先輩職員の温かい言葉に励まされ、頑張っていますので、よろしく願いいたします。



介護職員 アンゲン レスタリ

グループホーム王喜の郷ライム

2月には雪が積もるほど、寒い日もありましたが、少しずつ寒さが和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。寒い冬の間は、感染対策を図りながら、入居者の方の日々の健康管理に気をつけ、大きく体調を崩される方もなく過ごすことができました。2月3日の節分行事では豆まきが行われました。入居者の方々は鬼に向かって「鬼は外～！福は内～！」と元気よく大きな声で豆を投げておられました。ライムでは4名、年女の方がおられ羽織を着て豆を投げてくださいました。少しずつ暖かくなってきますが、気温差で体調を崩されないように気をつけて支援していきたいと思っています。



介護職員 日坂 直也

グループホーム王喜の郷

去年の12月からミントの家よりグループホームに異動し3か月間勤務している実習生のシャファイラ・ハヌン・ムアマナです。今までの指導や経験より介護の技術が上達はもとより、日本語も真剣に勉強して続けようと思っています。優しい先輩たちや快適な作業環境に恵まれて、応援をいただいたおかげで、日本語能力試験が合格できました。これらも利用者さんと正しくコミュニケーションを取りたいと思います。2月は節分と言う良い事を内に入れて、病気や悪い事が起こらないように願いを込めて、「福は内！鬼は外！」元気な声で皆様の笑顔も見られて、豆まきをされました。昼食に恵方巻を楽しく召し上がり、「うわー、嬉しいね」「美味しいですね」と聞かせていただき、自分も嬉しいです。また毎月の壁紙作りに利用者さんのご協力いただき楽しいです。業務やイベントなどを続けていきたいと思っています。

介護職員 シャファイラ・ハヌン・ムアマナ

王喜の郷居宅介護支援センター

今回は皆さんに帯状疱疹のワクチン接種についてお話したいと思います。帯状疱疹の原因ウイルスは免疫力が低下すると発症し、身体の片側に発疹や痛みが出ます。高齢者では皮膚症状が消えても痛みが長く残るリスクが高いと言われています。予防策としてワクチン接種があり、発症リスクの低下と症状が軽く済むそうです。令和7年度より帯状疱疹ワクチンが市町村による定期接種となりました。65歳を迎える方が対象で経過措置として70、75、80、85、90、95、100歳の人も対象となります。令和7年度の期限は3月31日までです。生涯に1度きりの機会となりますので、検討され、かかりつけ医と相談されてみてください。食事や睡眠等、日頃の体調管理も気をつけましょう。 介護支援専門員 石川 ゆかり

王喜の郷ホームヘルパーステーションいるか

私がヘルパーとして訪問する時に心掛けている点は、第一に、体調確認・コミュニケーションをとることです。何か困ったことが起きていないか、出来ないことが言えないではないか、コミュニケーションを通じて確認させていただいています。また、笑顔になるようなお話もさせていただいています。気分が落ち込んだ時や、そうではない時もお話ができれば嬉しいです。今後も今できることを維持できますように、無理のない程度、身体を動かしてお互い頑張っ一日一日過ごしていけたらうれしいです。 今後も声を聴かせていただきますので、よろしく願いします。



サービス提供責任者 山田 朋子

王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

暦の上では春を迎え、少しずつ暖かくなっているのが感じられる時期となりました。寒い間には行えていなかった外気浴も、上着を一枚羽織り、体調に気を配りながら実施しています。体調管理につきましても引き続きこまめな換気を心がけながら、安心して過ごしていただける環境づくりに努めております。レクリエーションでは、春の歌を皆で合唱したり、「春といえば」をテーマにした連想ゲームを楽しまれています。「春はおいしいものがたくさんあるね」「花より団子やね」といった声が聞かれ、笑顔あふれるひとときとなりました。 今後も充実した毎日を過ごしていただけるよう、職員一同サポートしてまいります。



介護職員 村上 雪子

放課後等デイサービス さくら

2月の後半から暖かい日も増え、徐々に春になっていく日々を子ども達と一緒に経験しています。2月3日は節分の日でした。さくらにも鬼が来ました。赤鬼さんや青鬼さん、そして恐竜までも登場し、子ども達も喜んでいました。一昨年、昨年と怖がっていた子も、今年は強気に「おにはそと！」と元気に豆まきをしていました。さらには「僕もやってみたいな…」と、鬼役となって豆まきに参加した子もいました。他の事業所にも、ちびっこ鬼がサブライズ登場し節分のイベントが大いに盛り上がり、とてもいい春のスタートが切れたんじゃないかなと思います。3月に入ると卒業があり、さくらにも高校を卒業をする児童がいらつやいます。残りの日を、最後まで、しっかりと、楽しく、元気よく、過ごすことが出来るように、子ども達と一緒に頑張っていきたいと思っています。

児童指導員 木村 歩夢